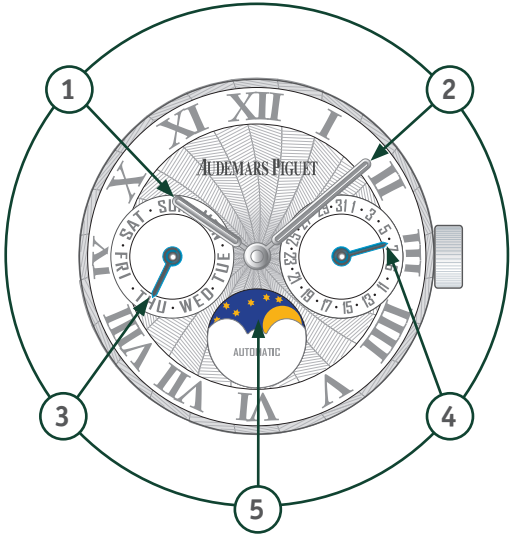
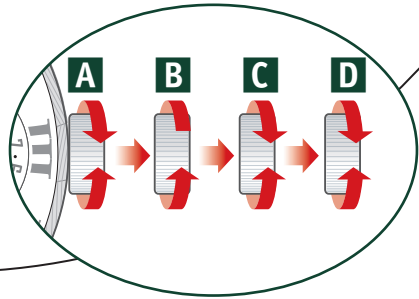
Instructions for use
Mode d'emploi

Day-date with moon phase

Calibres 2224/2825 &
2324/2825
Selfwinding

AP
AUDEMARS PIGUET
Le maître de l'horlogerie depuis 1875


1
2
3
4
5
AUDEMARS PIGUET
AUTOMATIC


A
B
C
D

日本語

使用説明書の目次はインタラクティブになっています（反対側ページ参照）。

読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトルをクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に配された白いインデックス «日本語» をクリックしてください。

1. イントロダクション 115ページ

オーデマ ピゲのマニュファクチュール
新型自動巻きキャリバー 2324/2825

2. この時計について 120ページ

基本ムーブメント
ムーブメントの技術仕様
時計の表示と機能

3. 基本的な機能 123ページ

時刻合わせ
ムーブメントの巻き上げ
日付修正
すばやくできる月相の修正
ムーンフェイズ

4. 備考 127ページ

マニュファクチュール

時計製造技術の発祥の地、ジュウー渓谷

ジュネーブの約 50km 北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウー渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は18世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビェと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと向かうことになりました。

こうして作られたムーブメントは質の高いものであったため、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、そうした企業によって完全な時計に仕上げられたのでした。

1740年以降、ジュー渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の1881年の項に記されているように、「急速に貧困が解消された桃源郷」へと変貌を遂げたのです。

偉大なる冒険に挑んだ２つの名前

1875 年、複雑時計の製作に情熱を傾ける 2 人の若き天才時計職人、ジュール - ルイ・オーデマとエドワール - オーギュスト・ピゲが、高級時計産業が盛んな地、ジュー渓谷で 2 つの才能を集結させ、複雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと決意しました。2人の決意、想像力、そして規律の正しさは、ただちに成功を収めました。1885 年ごろ２人はジュネーヴに支店を構え、1889 年のパリ万国博覧会の際には様々な超複雑懐中時計を発表して、新たな取り引き関係を広げます。オーデマ ピゲのマニュファクチュールは年々と発展を続け、例えば 1892 年には初めてのミニッツリピーター機能付きの腕時計、1915 年にはそれまで実現されたことのない5分単位ミニッツリピーター機能を備えた最小ムーブメントを製作するなどして、高級時計産業の歴史を彩ってきました。

1918 年からは、創設者の息子たちが事業を受け継いでいます。男性用、女性用の腕時計の製作に卓越した技術を発揮し、極薄の洗練された新しいムーブメントを作り出しています。1929 年のウォール・ストリート株価大暴落によって厳しい経営を強いられるものの、粘り強さと自主性を持ち続けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまいます。戦後は再編成をし、マニュファクチュールは、昔ながらのイノベーションを持続させつつ、高級時計の製作に力を入れることになりました。この戦略は大変クリエイティヴな大胆さを持つと同時に、多くの実りをもたらすことになります。

国際的な成功を収めたオーデマ ピゲは、1972 年にステンレススティールを用いた世界初のラグジュアリースポーツウオッチとして発表され、発売と同時に大きな成功を収めたロイヤル オークの製作をはじめ、1986 年に発表された世界初の自動巻きの極薄トゥールビヨン腕時計などの製作を続けてきました。以来、マニュファクチュールの創造のひらめきは衰えることなく、比類ないムーブメントを備えた独自の美しさを持つ時計を世に送り続けています。こうして80年 代末には複雑時計のテイストをコンテンポラリーなものに一新し、1999 年には見事なコレクション「トラディションオブエクセレンス」を発表します。この時計には、パワーリザーブ インジケーター機能、デットビートセコンド機能、垂直に配された永久カレンダーが備わっており、さらには潤滑油を必要とせずに革命的な高い効率で機能する新脱進機システムを搭載することにより、伝統に根付いた大胆なスピリットを実現しながら、未来をも約束しています。

新型自動巻きキャリバー 2324/2825

キャリバー2324/2825 は自動巻きです。手首の動きによって、時計が機能するのに必要なエネルギーが生じます。

このエネルギーは、21金製の回転錘に吸収され、歯車によってゼンマイに伝えられます。

スプリングが徐々にバレル軸に巻き付くことで、エネルギーが蓄積されます。蓄えられたエネルギーはコンスタントにムーブメントに供給されます。

時計を填めた方の運動量や生活習慣の違いにより、数時間から数日の範囲でパワー・リザーブが上限に達します。

ムーブメント

キャリバー 2324/2825

ブリッジ側

ダイヤル側

ムーブメントの技術仕様

ムーブメントの厚さ:4.60mm

ムーブメントの直径:26.60mm（11¾ライン）

ケーシング直径:26.00mm

振動数:28'800振動／時（4Hz）

石数:45

パワー・リザーブ:約 40 時間

一方向回転の自動巻き上げ(時計回りーダイヤル側)

金、銅、カドミウム合金メッキの香箱（ゴールドカラー）

注油不要のセラミック製ボールベアリング上にセットされた21K部分使用のローター

耐震テンプ軸受け〈KIFエラスター〉

変動慣性のテンプはマソレットにより調整されます。

部品数:215個

時計の表示と機能
(表紙の裏側にある図解参照)

1. 時針
2. 分針
3. 曜日を指す針
4. 日付表示針
5. 月相表示

この時計は4つのポジションを有するリューズを備えています。

- **A** ねじ込まれた位置のリューズ
- **B** 位置 手巻き
- **C** ムーンフェイズ修正位置にあるリューズ
- **D** 時刻合わせ、曜日・日付修正位置にあるリューズ

<注意>ロイヤル オーク モデルの場合は、リューズをゆるめて **B** 位置にします。作業後には防水性を確保するために再度 **A** 位置まで慎重にねじ込んでください。

時刻合わせ

リューズがねじ込み式のモデルの場合は必ず事前に緩ませておいてください。

リューズをポジション **D** に引き出します。時刻合わせをする時はリューズを前後に回すことができます。 合わせたい時刻まで慎重に針を進めながら、正確に時刻合わせをしてください。

注意:日付の変更により午前12時と午後文字フォントが違います。時を間違えないようにしてください。

ムーブメントの巻き上げ

リュウズを最低30回 **B** 位置で回して時計を巻き上げます。その後は手首の動きにより、自動巻機構が時計の正常な作動を持続させます。

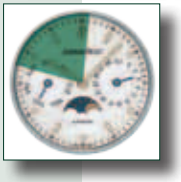
注意:時計を腕に付けていない時、自動巻システムは機能せず、時計は2日ほどで止まります。

曜日と日付の修正

曜日と**日付**の表示が合っていない場合は、まずリューズを **D** の位置に引き出し、針が2時を指すまで時計回りに回します。

針が午後9時30分を指すまでリューズを反時計回りに回します。この動作を必要な回数だけ繰り返します。**日付**と**曜日**を指す**2本の針**はこの動作を1回行うごとに1日進みます。

日付だけを修正する場合、リューズを回して針を午後9時30分の位置に合わせ、その後、時計回りに午前0時10分まで2本の針を進めます。この動作を必要な回数だけ繰り返します。



曜日だけを修正する場合、リューズを回して針を午後11時30分の位置に合わせ、その後、時計回りに午前2時まで2本の針を進めます。この動作を必要な回数だけ繰り返します。

その後、リューズを **B** 位置（ねじ込み式リューズの場合は **A** 位置）まで戻してください。

すばやくできる月相の修正

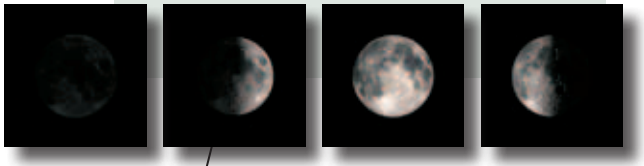
時計が正しいムーンフェイズを表示していない場合は、まずリューズを **C** の位置に引き出し、正確な表示を得られるまで、針を時計回りに回します。ただし修正は午後8時から午前12時の間に行ってください。

ムーンフェイズの調整方法は次の通りです。

a) 満月のディスク（太陰暦の15日目に相当）を表示させます。

b)前回の満月の日を決定します。前回の満月の日付と今日の日付の間の期間、1日につきリューズを時計回りにおよそ1周させます。

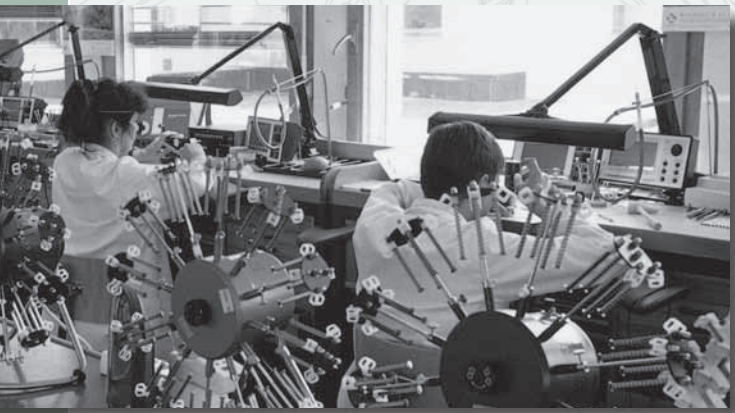
その後、リューズを **B** 位置（ねじ込み式リューズの場合は **A** 位置）まで戻してください。



ムーンフェイズ

新月から次の新月までの期間は29日12時間44分2.8秒です。

注：別表に、様々なムーンフェイズの日付が記してあります。



保証とお手入れ

時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。